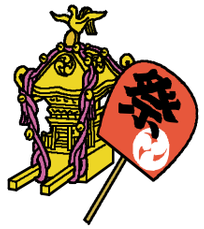
ECHO

日吉中学校　１年生
学年通信　ＮＯ．３
２０１０．４．１２



いよいよ授業の開始！

いよいよ今日から中学校の授業が始まります。金曜日に１５冊の教科書が配られ、「よしっ頑張ろう」という気持ちと「中学校の授業について行けるかな」という不安が交錯（こうさく）していることでしょう。

中学校生活の中で多くの時間を過ごす授業が一番大切であることは言うまでもありません。小学校と違い中学校は教科ごとに先生がかわります。また、算数は数学になり、美術や技術などの新しい名前の教科も始まります。どの教科の先生も個性豊かな先生ばかりで、わかりやすく授業をしてくれます。

授業がわからなくなると学校が楽しくなくなります。そうならないためにもスタートが肝心です。授業にしっかり集中して内容を理解しよう。積極的に発表をしよう。また、授業の内容の理解を深めるためにも予習や復習、家庭学習の習慣をを身につけよう。授業でわからないところは、各教科の先生にどんどん質問しよう。そうすれば授業がわかるようになり、楽しくなるはずです。

授業を大切にするためのスローガンは、「**授業三悪（授業遅刻・忘れ物・私語）**の追放」です。

生徒会オリエンテーション

金曜日に生徒会オリエンテーションが行われました。生徒会活動や中学校生活、部活動について、生徒会の先輩たちがとてもわかりやすく説明してくれました。特に部活動のビデオにみなさんの目はくぎづけでした。部活動を選ぶ参考になったのでは。生徒会オリエンテーションのみなさんの**聞く態度はとても良かったです**。この調子で。

心のスイッチ

人間の目は　ふしぎな目、
見ようという心がなかったら、見ていても見えない。
人間の目は　ふしぎな目、
聞こうという心がなかったら、聞いていても聞こえない。

おなじように先生の話をきいても、
ちっとも聞こえない人がある。
おなじように学校にきていても
毎日、ぐんぐんえらくなっていく人もある。
今までみんなから、つまらない子だと思われていた子でも、
心のスイッチがはいると、急にすばらしい子になる。
心のスイッチが、人間をつまらなくもし、すばらしくもしていくんだ。
電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。

ほんとうにそうだと　腹の底まで聞く人もある。
ちっともちっともえらくならない人がある。

湖国三大祭り　山王祭

湖国三大祭（山王祭・長浜曳山（ひきやま）祭・大津祭）の一つ「山王祭」が地元の坂本でおこなわれている。「山王祭」は、日吉退社のお祭りで、平安時代、比叡山延暦寺の僧兵が朝廷に強訴（ごうそ）するためにかつぎ出したのが、ここの神輿（みこし）と言われ１２００年の歴史があります。男女の神が見合いをし、結婚、出産するまでをあらわす神事が続きます。

最大の見どころは、１３日夜。若宮誕生の産みの苦しみを表現した『宵宮（よいみや）落とし』で、祭りのクライマックス。若衆らが４基の神輿を激しくゆらして高さ１ｍの壇上から地面に落とし、若宮の誕生をあらわす。

ものすごい迫力で繰り広げられる『宵宮落とし』は一度見ておくといいでしょう。

学校生活のルール①

１．携帯電話について

不要物であるのでもってこないで下さい。中学校では持ち込みを禁止しています。持ってきたときは不要物として預かります。不要物は原則として保護者に返却することになります。保護者からの要望があるときは届け出（申請）により持ってくることは認められますが、その場合も担任に朝の学活で預けることになっています。

また、最近、携帯電話によるトラブルが多く発生しています。携帯電話の使い方らは十分注意してトラブルや犯罪に巻き込まれないようにして下さい。

２．靴について

靴は運動靴をはいてくることにっています。ただし、高価なものは避けて下さい。盗難などのトラブルにまきこまれます。また、ローファーなどは認められていませんので、はいてこないで下さい。

３．掲示物

誰かがみなさんのために温かい心をこめてつくった掲示物をを勝手にはずしたりいたずらしないようにして下さい。

また、日吉中学校は大津市の中でもとても伝統のある学校です。校舎は古いですが大切にしていれば、十分に使うことができます。自分の家のように校舎や学校にあるものは愛情をもって使うようにして下さい。